

らくだ図書館

常木らくだの小説投稿ブログ



● 常木らくだ ●

当ブログ『らくだ図書館』は、開設1年半を迎えました。

ありがとうございます。

これだけ長く続けてこられたのは、訪問してくださる皆様のおかげです。

それにしても、最近改めて思うのは、夢は自分次第だということです。

小説投稿を始めた頃は、「〇歳になったらやめよう」とか、「3年やってダメだったら諦めよう」とか、常にやめるタイミングを考えている自分がいました。

でもそれって、今にして思えば、あまり意味のないことだった気がします。

何故って、当時考えていた想定年齢も過ぎて、3年もとっくに経過している今、小説投稿をさらに好きになっている自分がいるから。

自分にとって執筆は、やりたいことであり、やらなきゃいけないことであり、やらずにはいられないことです。

3年やったら満足とか、根本的にそういう問題ではなく、できれば一生続けていきたいと思っています。

それならもう、とことん夢を追っちゃえーと。

まあ、アレです。

夢を追うのが自分で、追わないのも自分なら、追う自分でありたいわけです。

そういうわけで、投稿愛を叫び続けて、このブログも1年半。

たまに更新が遅れる日もありますが、書きたいことはたくさんあるので、今後も地道に続けていこうと思います！

もはや宣伝というよりは、自分の覚え書きのようになっていますが、一応パブ版の紹介を。

らくだ図書館18（6月分）

<http://p.booklog.jp/book/73806>

上半期が終わりましたので、青い表紙は今回で終了です。

次回からは、緑になります。

あと、記事が6か月分たまったので、製本版の方も落ち着いたら着手しようと思います。

さてさて。

執筆の近況はというと、本文をほぼ書き終え、推敲に入っております。

しかし、推敲という作業は、疲れている時は無理ですね。

元気な時は「一つ一つの表現にこだわって、作品を最高の状態にするんだ！」と思うのですが、疲れている時は「表現を少し変えたって、結果はどうせ一緒だろ」と思い、ザーッと読み流してしまうという……。

そういうわけで、毎日少しずつしか進みませんが、今は次に書きたいネタも特にないので、ゆっくり時間をかけて読んでいこうと思います。

実現可能かどうかはともかく、自由に希望を言うのなら、次はアラビア風ファンタジーに挑戦したいところですが。

小説を書き始める前から、ずっとネタだけは脳内にあるのに、力量が足りなくていまだに文章にできないという、究極の「後回し」ポジション作品。

まあとにかく、まずは今取り組んでいる作品を、しっかり仕上げようと思います。

最近、特定のキャラクターソングではない、個人名義のアルバムを出す声優さんが増えています。

自分も好きでよく買う方なのですが、ご本人のコメントを見たり読んだりしていると、「自分名義のアルバムは、どこに寄せたらいいのかわからなく、その点が難しいと同時に新鮮だった」というコメントを目にします。

それと重ねるのもおこがましいですが、ブログを書き始めた時、自分も似たようなことを感じていました。

???

自由に文章を書くといっても、どこに寄せたらいいんだろう？

自分は作家（になりたい人）なので、キャラのフィルターを通して文章を書くことはできますが、キャラが何もない状態で文章を書けと言われても、「誰の意見を書けばいいの？」みたいな。

そりゃ当然、自分の意見だ！

そう理屈ではわかっているのですが、「キャラを通す」ことが文章を書く上での大前提なので、ブログの最初の方は自分が何者なのかわからない状態でした。

まあ、今ではすっかり、こういうドMキャラに落ち着きましたが！（威張るな）

そういうわけで、「キャラを通さないのが新鮮」という声優さんのコメントを読んで、「自分もそれに近い作業をしているのかも？」と勝手に思っていました。

逆に言うと、執筆時はキャラのフィルターがあるということなので、その部分はもっと強化していきたいです。

「抱き着かれた」と書くべき箇所が、「抱き疲れた」に変換されて、微妙なテンションになるの巻。

抱き疲れた！？

ちょ、やだ、疲れるほど抱いたってこと！？

っていうか最近、アダルト風味な誤変換が多すぎて、自分のPCをどう扱っていいかわからない。

「身体の疲労」が、「身体の披露」に変換されたり。

「製本版」が、「性本番」に変換されたり。

この気まずさは、いわゆるアレです。

お茶の間で映画を見ている時に、いきなり濃厚なラブシーンが出てきて、「ちょ、やめ、空気読んでよ！」みたいな。

あと、アダルト変換ではありませんが、「再来週」が「皿異臭」に変換された時は、自分のPCからただならぬ悪意を感じました。

ちょうど食事シーンを書いている最中に、そんな誤変換を出すなんて、あまりにも感じが悪すぎる！

そういうわけで、ぐったり疲れたので、執筆を離脱してブログ書き。

あ！

疲れたといっても、抱いてませんよ！（当たり前）

そんな抱き疲れネタで締めつつ、今日のブログ記事は以上です。

以前チラッと書いた通り、今回は書きながら原稿を印刷して、セリフを色分けしつつ読み直しを進めています。

しかし！

作業が最後まで終わらないうちに、蛍光マーカーがカスカスになって、色分けできないという事態発生。

この用途のために、新しい蛍光ペンを買ったのに、一体どういうことだ！？

ペンが売れ残りで、古かったのか？

それともまさか、主人公がしゃべり過ぎなのか？

正解は、たぶん両方。

それにしても、能動的な主人公というのは、書いていて新鮮で楽しかったです。

ラノベを書く時は、主人公を受動的な存在にして、ヒロインや友達を変なキャラにした方が書きやすい（と自分は思う）ので、今までそういう傾向に流されていましたが、主人公に個性をつけるのもアリだなあーと。

ただその分、物事への反応がニュートラルではないので、場合によっては「何コイツ？」と思われてしまい、主人公に感情移入しにくい可能性もありますが……。

まあでも、それも一つの挑戦ということで。

受賞して連載したい願望はもちろんありますが、色んな作品を書いて色んな世界を生み出せるのも、投稿者の特権の一つですよ。

まだ終わっていませんが、残りの作業も、頑張ろうと思います！

『らくだ図書館』が過去最大のPV数を記録したのは、2012年7月10日なのですが、本日それを越えるPV数がカウントされているという……。

不自然だ（汗）

普段の4倍を軽く越えている（大汗）

これはもしや、アレですか？

どこかでフラゲがあったのですか？

と思ったけれど、それならそれでTLに流れるはずだし、さすがに6日フラゲはないですねえ。

しかし本当に、サイバー攻撃にあったような、すごく異常な伸び方なんですけど。

どうしたんだ？

ユアッシャーネタを書いたから、強敵（とも）が集まってきたのか？

北斗神拳を使うのは今なのか！？（使えません）

まあそれは冗談として、このブログがダウンすることがあったら、こっそり他のブログへ亡命しますので、その際は引き続きよろしくお願いします。

鍵ブログになった場合、「常木らくだは反面教師」がキーワードですので、みな様どうぞお忘れなく！

いや、それも冗談ですが。

常にチャック全開で、あけっぴろげなのが、『らくだ図書館』です。

という、グダグダな内容で締めつつ、今日のブログ記事は以上です。

暑いと頭が回リませんね……。

昨日のPVが異常だと思ったら、某所に名前を貼られていました。

恥ずかしいからヤメテ、と赤面しつつ叫びたいところですが、このタイミングならむしろウェルカム。

貼ってくださいませ、ご主人さま！

え？

何故かって？

訪問者の数が多いほど、この場で落選報告をする時に、大きな快感 反省が生まれますから！

いや、本当に。

ブログでの投稿歴の披露は、ある意味そういう目的です。

1次落選の詳しい経歴も、書きたいんですけどね。

本気ですごい量になってしまうので、記事で落選を披露するだけにとどめて、リストには落ちた賞名しか書いていませんが。

あと、えんための2次発表は、7月19日確定のようで……（汗）

勝手に26日だと予想していましたが、FBオンラインを確認したところ、19日としっかり明記してありました。

そういうわけで、今週が電撃で、来週がえんため。

落ち着かない2週間になりそうですが、あまりテンションが激しく上下しないように（執筆に影響するので）、冷静な気持ちで臨みたいと思います。

そういえば、日本語検定の1級は、残念ながら不合格でした。
点数が少し足りない場合、準1級をもらえるんですが、準1級も不合格でした。

はっはっは！

1年間でもっとも訪問者が増えるこのタイミングで、進んで不合格報告をする、常木らくだのDMっぷりを思い知るがよい！

というDMネタも、そろそろ使い古した感がありますが、自分がDMな点は変えようがないので、飽きた方もどうか我慢してくださいまし。

しかし……。

この分だと、語彙・読解力1級も、同じく不合格フラグかな……。

そういうわけで、秋日程も受けようと思いますが、日付けを確認したら11月9日なんですね（汗）

その日、NHK杯フィギュアじゃないですかー。

チケット取れたら、代々木に行くから、ディオスには行けませんよー。

そんなこんなで、まずはチケットを獲得するべく、発売日になったらF5連打に励もうと思います。

そして、F5連打といえば、言わずと知れた電撃の1次発表。

どの媒体が最速かはわかりませんが、いずれにせよ明日か明後日には確実に出るはずなので、心して待とうと思います。

頑張れ、自分の作品……！

あの作品が1次落ちだったなんて、オレは怒ったぞフリーザァァー！

はい。

というわけで、電撃は1次落ちでした。

っていうか、ブログのアクセスが多すぎる（汗）

通過して名前が載ったなら、検索してくださる方がいるのは、自然なことだと思います。

しかし、落ちて名前が載っていないのに、PVが増えるって何なんですか？

さては皆さん、ドSですね！？

まあね。

そういう冷やかしかアクセスは、好きだからいいんですが。

ちなみに、4本が1次落ちでした。

別に言わなくていいのに、落ちた本数をさらすのは、自分がドMだからではありません。

1次落ちしたことを隠すプライドではなく、1次落ちしたことを明言した上で、そこから立ち上がるプライドを見せたいのです。

なんて書きつつ次回も同じ結果だったら、完全に口先だけの人間になってしまうので、来年は絶対に通過できる作品を用意して臨みたいと思います。

それから、初めてこのブログに来られた方が多いと思われるので、少々宣伝を。

当ブログ『らくだ図書館』は、小説投稿に関する話（ただの雑談も多いですが）をほぼ毎日発信しておりますので、今だけでなく今後も定期的に見に来てくださると非常に嬉しいです。

これを機に、当ページのブックマークを、是非ともよろしくお願いします！

過去最高アクセス、いただきました！
かつてない伸びのPVに、ひたすら感謝しております。

あと、ここに書こうか迷ったのですが、検索キーワードを眺めていたら、「常木らくだ、俺も一次落ち」というのがありました。

わざわざ「俺も」ということは、励ましのメッセージですよね！？
応援、ありがとうございます！

その他にも、明らかに一発ネタと思われるキーワードが、最近ちよくちよく見られるのですが……。

反面教師の他にも、ここ最近だと、16連射ネタとか。

ちゃんと確認しておりますので、ジャンジャンやってくださいまし！
ただし、HPの低い人間ですので、罵倒する際は優しくお願い致します。

さてさて。
執筆の近況ですが、来年の電撃に投稿する予定の作品が、いったん完成。

しかし今回の結果の反省もあり、これでは不十分だという気持ち生まれ、最初から書き直すことに決めました。

というわけで、完成したら感想を募ろうと思っていたのですが、まだかなり先になってしまいそうな状況です。

落選は心をえぐられる出来事ですが、それでも小説を書くことは楽しいと思うので、めげずにこれからも続けていきたいです。

以上、7月10日のらくだブログでした！

まさか4作品が全滅するとは考えておらず、手帳の8月10日の欄に「電撃、2次発表」と書き込んでしまった、常木らくだの小説投稿ブログへようこそ！

しかもボールペンだったので、修正テープで消したんですよ。

日付けを確認するたびに、その予定が目に入るのは、あまりにも悲しいのです。

しかし修正テープが薄すぎて、消したのにうっすら見えるという、シースループレイのような状態に。

いやーん！

見えてるうー！

それでまあ、5回くらい重ねて貼ったら、文字は見えなくなりましたが、紙がふっくらと盛り上がってしまいました。

というわけで、8月10日は2次発表で盛り上がることと思いますが、当日は常木らくだの手帳も（物理的に）盛り上がっておりますので、どうぞよろしくお願いします。

教訓。

2次以降の発表予定は、通ってから書き込むべし。

それから、昨日検索キーワードの話を書いたところ、さっそく「常木らくだ、一緒にがんばろう」というメッセージをいただきました。

ええ、一緒にがんばりましょう！

落選から立ち上がる強さを、チラ見せなんて言わず、周囲にモロ見せするのです！

そんなこんなで、今日は以上です。

とりあえず、今度街へ出掛けたら、もっと立派な修正テープを買いたいです。

本日、語彙・読解力検定の結果が届き、開封したところ不合格でございました。

ここで改めて、常木らくだの近況をまとめておくと、

日本語検定1級、不合格。

電撃大賞、4作品が1次落選。

語彙・読解力検定1級、不合格。

もうね。

「泣きっ面にハチ」というのは、まさしくこのことですよ。

もしくは、「泣きっ面にムチ」でもいいですけどね！

別に何も意識していないのに、こういうネタばかり浮かんでしまうのは、性癖だから変えようのない部分です。

そんな悲しい状況の中、励ましの検索キーワードを、続々といただいております。

皆様、ノリが良すぎです。

あくまで検索キーワードで、コメントではないという点に、創作者のセンスを感じます。

嬉しいですね。

1次落ちを知った当日は、ショックで明け方まで眠れませんでした。投稿は絶対にやめないという信念は変わりません。

投稿をやめてしまえば、1次落ちする可能性は絶対にはないですが、それではきっと幸せになれませんから！

小説投稿は、何よりも自分のために、今後も続けていきたいと思えます。

皆様、こんばんは。

黄昏のワナビ戦士、常木らくだです。

どん詰まり感が半端ないここ最近ですが、奮起して新しい作品を書き始めました。

しかし新しい作品を書き出すと、自然と明るい気分になってくるから、執筆とは不思議なものです。

自信作が無残に飛び散った日には、朝5時まで眠れなかったりするのに、「次はこれ書くんだ！」という気持ちになると、逆に朝5時に目が覚めたりして。

それはそうと、今回「作品内の時間順に書こう」と考え、主人公の過去シーンから書き始めたのですが、小学生の行動には色々と制約があって書きづらいです。

お前たち、早く大きくなってくれ！

そして出来れば、丸々と太ったオイシイ子に成長しておくれ、イーッヒッヒ！

いや。

ヘンゼルとグレーテルの、悪い魔女の真似ですよ？

決して小学生をどうこうしたい、変態じゃありませんからね？

それにしても、過去回想というのは、どの程度詳しく書いたらいいのでしょうか。

必要な情報だけ出して切り上げるべきか、心情をじっくりと書き込んだ方がいいのか、描写濃度でやや迷っております。

まあ、模範解答は存在せず、話の内容によるのでしょうか……。

しかし投稿をしていると、落ち込む理由が作品で、持ち直す理由も作品ですね！

今回は、普段と違うことをする予定ですが、違う過程を楽しんで書こうと思います！

最近、本当に暑いですね。

この暑さで気合いが入らないという人は、『北斗の拳（初代）』のオープニングを、10回連続で見たらいいと思います。

そうすると、オススメ動画がケンシロウで埋まって、さらにもっと暑苦しくなります。
現に自分がそうなっているので、この事実は間違いありません。

お前はもう死んでいる！（CV：神谷明）

余談ですが、声優さんで『神谷』と聞くと、神谷浩史さんの声ではなく、神谷明さんの声が最初に浮かびます。

そんな年代ですが、よろしくネ！

あとこのブログについて、「意味のわからない単語がある」というコメントをいただくことがありますが、そういうのは古いアニメか古いゲームのネタだと思われるので、常木らくだの年齢を何となく推察してくださればいいと思います。

それはそうと、今日電車に乗っていたら、浴衣姿の方がたくさんいました。
女性がほとんどでしたが、男性で浴衣という方も、結構多くいらっしゃいました。

「？」と思っていたら、祇園祭なのですね。
自分自身の祭りは、7月10日の昼下がりに終了したので、完全に忘れておりました。

まっ、まあでも、電撃祭りは来年もありますからね！

今からしっかり準備しておけば、来年の夏にはラオウを倒せると思うので、ユアッシャーを聴きながら執筆に励もうと思います。

さてさて。

ここ最近、絡みづらい自虐ネタを披露してきましたが、ちょうど週も切り替わったことですし、そろそろ平常運転に戻ろうかなと思います。

そうですとも！

自信作が落選したからって、暗くなってはいられません！

今週からは否定的だった気持ちを封印し、何気ない日常生活のあれこれに、ひたすら前向きに取り組んでいきます。

とりあえず前向きな行動の一環として、今後クシャミをする際は「ハックション！」ではなく、「ハッスル！」と叫んでみようと思います。

ハッ、ハッ、ハッスル！

自分はもちろん、周囲の人々も元気づける、素敵なクシャミ。

もしくは、「ハットトリック！」でもいいですね。

サッカー観戦中に叫べば、チームの応援にもなるし、その場が盛り上がることでしょう。

.....。

すみません。

無責任な一発ネタはやめると、じっちゃんに言われたのに、つい書いてしまいました。

というわけで、今週から平常運転に戻そうも何も、こういうノリが当ブログの平常運転ですので、そういう理解で今後もお付き合いいただければ嬉しいです。

今週末には、えんための発表があるので、落選時のネタを仕込んでおこうと思います！

星矢がペガサス流星拳を使ったかのように、PV数が伸びまくりで、うれし恥ずかし気分の常木らくだです。

ひょっとすると、また貼られたのか！？
貼りの効果マジパネェ……！

こうなってくると、もはやアレですね。

受賞して投稿ブログを閉じることが自分の一つの目標ですが、むしろワナビという地位を一生維持したまま笑いを取った方が、世のため人のためかもしれないという考えが浮かびました。

いや。

自分がドヤ顔で書いているだけで、実際は誰一人、笑っていないかもしれませんが。

あと、PVが激増したタイミングで「小学生をどうこうしたい」というネタを書いたので、「常木らくだは小児愛の嗜好を持っている」と疑った方がいらっしゃれば、それは本気で否定します。

小学生ネタはただの冗談です！
DMネタは冗談ではなく本当ですが！

そんな大声で主張しなくていいよ、っていうね。

そういう感じで、つらく長い小説投稿という過酷なレースを、ゴールとは逆方向に暴走中の最近です。

あんなに房総しているようじゃ、常木らくだはもう尾張だな！

という、投げやり過ぎるオチで締めつつ、今夜はこのあたりで失礼します。

『ワナビリーのブートキャンプ』

やあ、入隊おめでとう！
わたしは隊長のワナビリーだ。
つらく厳しい道のりになるが、わたしと一緒に頑張っていこう。

何、もうやめたい？
これは真剣勝負であって、お遊びじゃないんだぞ！

よし、ようやく原稿が完成したな。
お前はよく頑張ったから、わたしも結果が楽しみだ。
今夜はゆっくり休養するように。これは隊長命令だ！

すみません。
ベジータ原稿 bot の後追いネタです。

ブログの話題がないからって、安易なパロディはダメ、ゼツタイ。

それはわかるけど、書きたいんだよ！
こんな三流ギャグだけど笑ってキャンディ！

最近どうしてこういうテンションかというと、現在ネガティブな作品を書いているので、執筆後に反動で悪ふざけしたくなるのです。

そういうわけで、話しかけにくいノリになってますが、よろしく哀愁。

ただ、そろそろ怒られそうな気がするので、明日は久し振りに真面目な話を書こうと思います！

アルク翻訳大賞に応募しました。

3部門出しましたが、特に面白かったのは、やはり字幕部門でした。

課題映画の該当シーンを何回も見て、既訳とは違う個性を出しつつ、字数制限内におさまるセリフを熟考。

うんうん。

結構いい出来じゃない？

それで、「今回リアルに受賞」と思いつつ応募ページにアクセスしたら、1行に14文字しか入力できないという注意文を発見。

マジか！！

というわけで、大慌ての精神状態で、長いセリフを適当に改行。

でも、適当じゃダメですよね……。

改行位置って重要ですからね……。

アルクさん！

その注意文はとても大事なので、紙面にも書いておいてください！

これから応募される方は、お気をつけくださいませ。

14文字以上のセリフは全部、2行で表現しないとイケません。

とにかく、今月は他に応募予定がないので、7月の投稿作業は終わりました。

来月は持ち球を野性時代に投稿する予定なので、新作の執筆を進めつつ、そちらの修正も進めていこうと思います。

ラクダはんは、落選どすええ。

いやはや。

やんわりと京都弁で言っても、悲しいものは悲しいですな。

というわけで、通過中だったえんため&えんためガールズは、どちらも2次落選という結果でした。

しかし、悲しいんですが、ショックではないですね。

いつもは4月に燃え尽きて、結果判明まで執筆意欲が湧かないんですが、今年は電撃もえんためも準備不足で臨んでしまった自覚があるので、リベンジを誓い5月から新作を書き続けている状況です。

ご覧、ぼうや。

あれが投稿者の負け惜しみだよ。

まあでも、来年カムバックできるように頑張ります！

今までお世話になった皆様、1年後に必ず再会しましょう！

あ。

1年後に再会も何も、このブログは毎日更新だから、年中ずっと会えるのか。

雨の日も風の日も、あなたの隣りに、『らくだ図書館』。

そんなわけで、通過中の賞がゼロに戻ってしまいましたが、夏～秋の締切りに向けて気持ちを切り替えていきたいです。

とりあえず、次の目標は野性時代だー！

夏休みです！

新作ジブリ映画、『風立ちぬ』が公開されました！

もしこのタイミングで自分に通過中の賞があれば、「死亡フラグ立ちぬ」から書き始め「生きねば」という結論へ持ち込む、渾身の自虐記事を書こうと狙っていたのですが……。

通過中の賞が何もないので、フラグが立つはずもなく、はかない夢となりました。

それから検索キーワードで、「自分を小説の題材にしたら？」という、コメント（提案？）をいただきました。

えーっと？

これはつまり、昭和生まれのドM系ワナビが、熱いギャグや寒いギャグで周囲を困らせる、小説投稿の物語（バッドエンド）を書けばいいのですか？

と思ったら、「旅行の経験」という続きが。

ありがとうございます。

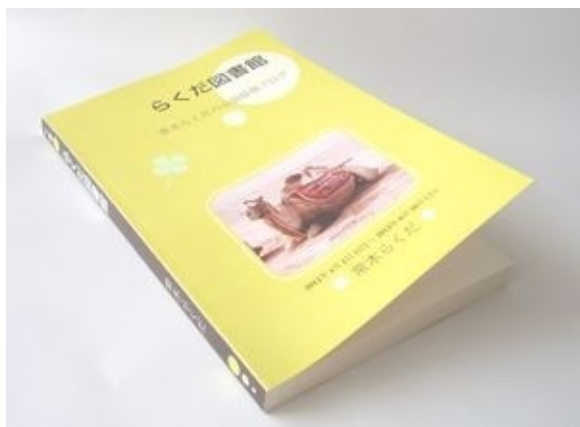
旅行ブログをご覧いただいた方でしょうか？

確かに『深夜特急』のような、旅行エッセイ風の小説は、前からずっと書きたいと思っております。

もちろん、あのレベルには程遠い内容になるでしょうが、「書きたい作品リスト」にそっと加えました。

今書いている作品がまだ序盤で、その後アラビア風ファンタジーが控えているので、いつになるかわかりませんが、いずれ必ず取り組みたいと思います！

ブログ出版局さんに印刷を頼み、『らくだ図書館』を書籍化しました。



自費出版と違って、自分用に作っただけなので、決して作家デビューではありません。

つまりはまあ、同人誌ですね。

投稿生活の思い出として、本棚にしまおうと思います。



頒布ページがありますので、過去の分とあわせて、以下にリンクを貼っておきます。

[【第1弾・2012年1月～6月分】](#)

[【第2弾・2012年7月～12月分】](#)

[【第3弾・2013年1月～6月分】](#) (NEW!)

製本は有料（200Pで約3,000円）のため、宣伝ではなくあくまでも紹介ということで。

仮に注文して下さった方がいても、売れたことが本人に通知されないシステムなので、過去の2冊がどうなっているかは完全に不明です（汗）

電子書籍版は無料ですので、まとめ読みはパブーでどうぞ！

<http://p.booklog.jp/users/rakuda-tsuneki>

今執筆している作品ですが、途中に入れる過去回想が書けたので、最初に戻って作品の冒頭を書き始めました。

しかし……。

過去回想を入れるタイミングって、考え始めると難しいですよね……。

あまり早いうちに、「この人物にはこんな壮絶な過去があるんだよ」と書いても、「へえーそうなの、大変だねー（棒読み）」と思われてしまう可能性が。

そこはやっぱりストーリーをしっかりと動かして、「どうしてこんな行動をするんだろう？」と疑問を与えた後に、「実は……ババーン！」と出すのがベストでしょう。

まあ、それが簡単に出来たら、こんなに苦労はしないんですが。

自作を客観視するのは難しいので、その「ベスト」がなかなか出来ないわけで。

なので、成功するかどうかは不明ですが、とりあえずジャスト半分の位置に入れようかなーと思います。

今まで過去回想を入れた作品はすべて落選しているので、構成に関して評価をもらったことがないのですが、今度こそコメント付きの選評が欲しいところです。

というわけで、発表ラッシュも一段落！

精神的にも落ち着いてきたので、落選ネタの記事はそろそろやめて、今後は執筆の記事を多めに書いていこうと思います。

小説投稿で受けた傷は、同じく小説投稿でしか、完全には癒せませんからね。

落選を反省することは必要ですが、あまり過度に悲観しすぎることなく、「執筆あるのみ」の姿勢で頑張ろうと思います！

和歌山県の世界遺産「熊野三山」へ行ってきましたので、今日から何回かに分けてその様子をご紹介します。



まず最初に訪れたのは、熊野那智大社で、こちらは参道の入口です。

しかし、この階段は……。

「歓迎、那智詣」と書いてありますが、最初からいきなり挫けそうです。



上の方から見おろした様子。

参道の脇には、みやげ物屋が。

写真ではわかりにくいですが、遠くの山々がとても綺麗です。



ようやく鳥居だ一、と思ったら、まだ階段が続きます。



「世界遺産 熊野三山 熊野那智大社」の石碑。

鳥居の脇にありました。

それにしても、階段がキツイ！



ようやく辿り着きました。

朱塗りの社殿が美しいですね。

それから那智といえば、何といっても滝が有名。
暑すぎて倒れそうですが、そちらへも行ってみましょう。



「世界遺産 那智御瀧」の石碑。

そうこうしていると、修験者さんの一団が！
ブオーと法螺貝を吹きつつ、降りていらっしゃいます。



那智の滝は、ご覧の通り。

133mの落差は、日本一を誇るということで、迫力満点です。



次回は熊野本宮大社をご紹介します！

滝を見学した翌日は、熊野速玉大社へ。

ちなみに熊野三山というのは、昨日写真を載せた「熊野那智大社」、それから「熊野速玉大社」「熊野本宮大社」を指すそうです。



「世界遺産 熊野速玉大社」の石碑。

山深い他の2か所と違って、速玉大社は、新宮市の町中にあります。
階段を登らなくていいから、参拝がラクだー。(←怠け者)



昭和42年に再建されたということで、朱塗りがまぶしく新しい印象です。

国宝を展示する資料館は、朝早すぎたせいか、門が閉まっていた。
うーん、残念！



続いては、熊野本宮大社へ。

全国にある熊野神社の総本宮で、三山の中でも中心的な聖地だそうです。
朱塗りではない木造りの鳥居が、聖地の雰囲気醸し出しています。



そして、また階段。

「中央は神様の通り道なので、右側通行で登りましょう」という看板がありました。

この階段を登りきると……。



本殿は撮影禁止のため、門の写真のパチリ。

その本殿ですが、今は修繕中ということで、白い布で覆われていました。
今年の12月に終了予定だそうです。



こちらは、近くにある大斎原。

明治22年までは、ここに本殿があったそうですが、水害で今の地に移されたとか。
左右の田んぼに、心が和みますね。



鳥居の奥には、深い木立が。



鳥居の遠景。

平日&猛暑ということもあって、観光客も少なめで、とても落ち着いた雰囲気でした。

次回は、温泉をご紹介します！

観光後、勝浦温泉の「ホテル中の島」に泊まりました。

この旅館は離れ島にあり、交通手段はフェリーのみ！
推理小説の舞台のようで、テンションが上がります。



フェリー乗場の入口。

隣の漁港には、船がズラリ！
漁港ってロマンがあって、素敵だと思いませんか？



乗場へ到着すると、お目々パッチリ、その名も「オルカ号」がお出迎え！

これに乗るんやな、と思って興奮したのに、実際は違う船でした。
乗れなくてちょっと残念。



フェリーに乗船中、マグロ漁港へ大接近。



10分ほど乗っていると……。

おお！

旅館が見えてきましたよ！



旅館へ到着後、島の中を散策していたら、足湯を発見！

周囲には誰もおらず、完全に独占状態です。
贅沢な時間です。



下の写真は、部屋から撮影。

真ん前が海です。

海に浮かんでいる感覚です。

夜は対岸の夜景が綺麗でした。



波のさざめきと、ほのかな磯の香り。

それに加えて温泉とくれば、創作意欲が湧くってもんです。

これを執筆の力に変え、今日からまた頑張ろうと思います！

「人見知りみたい」という台詞が、「瞳尻見たい」に変換されたのが、今日の執筆の最大のハイライト。

この瞳で尻が見たいッ！

待ってください。

ブラウザを閉じないでください。

上記の文章は、単なるパソコンの誤変換であって、決して心の叫びとかではありませんから。

自分は純情なタイプなので、「尻見たい」なんていう破廉恥な文章が目の前に表示されて、赤面してしまいました。

とまあそういうわけで、旅行シリーズが終了し、脱力ワナビ記事へ戻って来ました。

うん！

『らくだ図書館』は、こうでなくちゃね！

今は執筆も割と好調で、「ああしようかな」「こうしようかな」と楽しく悩んでいるので、その辺のつぶやきもどンドン書いていければなと思います。

いや。

本当は今日も、執筆のつぶやきを書こうと思ったんですが。

瞳尻のインパクトが強すぎて、そっちを書いてしまいました（汗）

というわけで、いよいよ夏も本番ですが、暑さに負けずに書きましょう！

投稿砂漠のオアシスを提供できるよう、自分も更新を頑張ろうと思います！

今回、投稿5年目にして初めて、「幼馴染カップル」を書いています。

今まで恋愛要素を入れる時は、必ず出会いの場面から書いていたので、元から知り合いというパターンは初めてです。

いやあ。
新鮮ですね。

昔から知っている関係だからこそ、変わった部分や変わらない部分を表現できて、オチモノ恋愛よりもドラマが作りやすい気がします。

しかし、幼馴染の恋愛はあまりに王道すぎるので、それだけを作品のウリにするのは弱いかなーと。

そんなわけで、幼馴染カップルとは別の男を、主人公に置いてみました。

「主人公（寂しい一人身）」＋「幼馴染カップル（ラブラブ）」

しかも、三角関係にもならず、主人公は最後まで寂しい一人身。

……………。

この作品って、需要あるの？

というわけで、書きつつ不安に襲われる最近ですが、書くこと自体はとても楽しいです。

それから、過去回想を2つ入れようと画策中。

新人賞的には1つが無難だと思いますが、そうはいつでも両方入れたいので、入れる方向で進めていこうと思います！

たこ焼きランチ - 2013.07.28 Sun

大阪マルビルの地下にある、たこ焼き屋へ行ってきました。

なんと、このたこ焼き屋、自分で焼くんだそうです。

うまく出来るかドキドキです。



まずは、油をひいたところ。

iPhone3G で撮影のため、画像がイマイチですが……。



たこ投入。

右側はしそとチーズ入り。



お店の人が、生地をそそいでくれました。

えっ、そんなに入れちゃうんですか！？
鉄板がまるで湖のようになっています（汗）

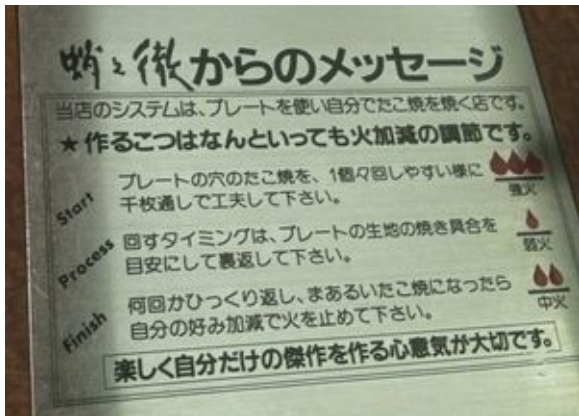
生地が固まり始めたら、真ん中に寄せていき、回しながら形を作ります。



最終的には、ご覧の通り！

途中の写真を撮れませんでした。まるで魔法のような変貌っぷりです。
たこ焼きってスゴイですねー。

テーブルには、こんなアドバイスがありました。



「楽しく自分だけの傑作を作る心意気が大切です」

これはそのまま、小説投稿にも言えることではないでしょうか。
ナイス格言を胸に秘め、来週も頑張ります……！

『ワナビリーのブーツキャンプ』の記事について、リアル知人に「よく思い浮かぶね」と言われました。

すみません。

普通にしていると、そんなことばかり浮かびます。

でも、そういうブーツキャンプがあったら、是非とも入隊したくありませんか？

執筆をサボったら、ワナビリー隊長が愛のビンタ、「ワナビンタ」をくれる。
投稿が完了したら、「ワナビクトリー！」と言って、笑顔でVサイン。

とりあえず、「ビ」で始まる単語には、全部「ワナ」をつけとけ、みたいな。

「仕事後のワナビールは最高だぜ！」

「今年の夏はワナビキニで、みんなの視線を釘付けよ！」

「1次通過した！俺にワナビーナスが微笑んでくれた！」

……………。

すみません。

こういう一発ネタは、深追いすると逆効果だとわかっているのに、書いてしまいました。

まあでも、ブーツキャンプは単なる妄想にしても、執筆中に叱ってくれる隊長がいたらいいなあーと思います。

書いている最中、ブラウザを開けていると、つい遊んでしまうんですね。

まあ、辞書代わりに使うから、開けておくしかないんですが。

そんなわけで、割とゆっくりな進み具合ですが、8月中の完成を目指して書き続けようと思います！

もうすぐ8月だなぁー早いなぁーと思って、ぼんやり手帳を見ていたら、10日に修正テープが貼られていた件。

ああ……。

電撃2次発表を消した跡か……。

そのまま放っておけばよかったのに、無理やり消したことで、むしろ悲哀が増したような気が。

というわけで、もうすぐ8月ということもあり、1次通過された皆様は緊張が高まっていることでしょう。

ご安心ください。

万が一落選の場合は、三途の川の向こうで、常木らくだが待っています。

うえっへっへ～。

おめえさんも、こっちゃん来～い。

イメージは、なまはげ姿。

ヨダレを垂らしながら、投稿者を追いかける。

ちなみに、常木らくだがタッチすると、1次落ちの強力な呪いがかかる、禁断のリアル鬼ごっこです。

いや、嘘ですよ？

緊張をほぐすための、おちゃめな冗談です。

という自虐ネタを思いつくのも、すべては修正テープのせいなので、今後は書き込みを先走らないように注意したいです。

H J 大賞が大幅にリニューアル！

という噂を聞きつけ、さっそく要項を見てきたところ、「読者グランプリ」が開催されるそうです。

まとめると、こんな感じ？

- ・最終選考で選外になると「読者グランプリ」候補になれる
- ・それぞれに担当編集者がつき、応募作品とは違う新作を執筆
- ・その新作をHPで公開し、読者投票で1位になると、その作品が出版される

投稿作品を公開ではなく、違う作品を書くところが、斬新な企画ですよ。

新しい作品を書かせることで、引き出しの多さや執筆スピード、それから編集さんの要望に応える力を見るという感じでしょうか。

新作の執筆期間がどれくらいあるのか、そして間に合わなかった場合どうなるのか、ちょっと気になってしまいますが……（汗）

それから、「1次通過の割合を大幅に増やす」という宣言に、かなり真剣に心惹かれました。

本気で受賞を狙うつもりなら、1次で大騒ぎしちゃいけないと思うけど、それでも1次通過したいんだよおお！

何しろ最近の自分は、安定の1次落ちです。

ガラスのハートが砕け散って、なまはげになりそうです。

そんなわけで、今からなら3か月ありますし、投稿を考えてみようと思います。